

発行 北東アジア学会事務局

新潟市中央区万代島5-1万代島ビル13階公益財団法人環日本海経済研究所内 〒950-0078

電話 025-290-5545 / ファックス 025-249-7550 / 電子メール jimukyoku@anears.net / ウェブサイト

<http://anears.net/>

今号のヘッドライン

【1面】 次回大会、北東アジア学会優秀論文賞

【6面】 総会・理事会・常任理事会議事

【3面】 2014/15年度決算案および2015/16年度予算案

【11面】 つうしん48号記事の訂正、事務局からのお

【5面】 北東アジア学会優秀論文賞、北東アジア学会

しらせ

学生奨励賞推薦受け付け

本号では、第20回記念大会以降、第8期の事務局の活動について、すでに「つうしん」48号でお知らせした第21回大会関連を除いたものをお知らせいたします。

次回(第22回)大会について

第22回学術研究大会は、次のように開催いたします。

- 日時:2016年10月8日(土)午後~9日(日)全日
- 場所:慶應義塾大学三田キャンパス(東京都港区三田2丁目15-45)
- 担当校:慶應義塾大学(大西広会長)
- 大会テーマ:「北東アジアの国際関係の打開と発展—北東アジアの国際関係の再認識—」
- 会場最寄り駅:JR山手線・京浜東北線田町駅、東京都営地下鉄浅草線・三田線三田駅、東京都営地下鉄大江戸線赤羽橋駅

この時期は体育の日(10月10日)連休に重なり、日本国内の旅行シーズンとなっています。それだけでなく、中国の国慶節休暇、台湾の双十国慶節休暇にも日程が隣接していますので、東京都内のホテル確保が難しく、価格も高めになっているようです。お早めのご予約をお勧めいたします。

会員の発表については、追って募集いたします。もし、企画分科会等のアイデアをお持ちの方がいらっしゃいましたら、早めに(できれば次回常任理事会開催前々日の4月15日頃までに)事務局までお知らせください。

北東アジア学会優秀論文賞の審査結果について

「北東アジア学会優秀論文賞」は、若手研究者の育成を目的として、学会設立10周年を記念して設立されました。

若手研究者によって各年度に発表された査読付き単著論文について、特に優秀なものを北東アジア学会優秀論文賞として表彰しています。2014/15年度は、1件の推薦があり、これに対して審査委員会にて審議し、次の通り優秀論文賞を授与することになりました。副賞として、韓国・東北亜経済学会の大会に派遣し、発表を行っていただく交通費の一部(5万円を上限とする実費額)を助成することになっており、峯田会員は2016年2月に開催された同学会の大会で発表を行いました。

- 受賞者:峯田史郎会員(早稲田大学 地域・地域間研究機構(旧アジア研究機構) 招聘研究員)
- 論文題目:「地域形成の多層性とスケールにおける権力関係—中国・雲南省の地域政策を事例に—」
- 掲載誌:『北東アジア地域研究』第21号

審査委員会の審査意見は次の通りです。

北東アジア学会優秀論文賞候補審査

2015年12月20日

若月章、高橋正樹

審査結果

本論文は、北東アジア学会優秀論文賞の授賞に値する。

講評

本論は、東南アジア大陸部と中国南部を包摂する国際的・地域形成において、中国雲南省政府が主体的な役割を果たしたということを検証した独創性の高い研究である。すなわち、本論は、「領域」としての雲南省の重要性ではなく、「行為主体」としての雲南省政府が、ADB-GMSの政策を実施する際に関与し、中央政府、PPRD、雲南省内都市圏の各スケールとの協調を試みている点を明らかにした。

さらに、雲南省を中心にして、そこと東南アジアとの地域国際的な関係、中国中央政府との関係、中国国内の他地域との関係という多層的な側面への分析視角をもった点は、高く評価できる。本論は、ADB-GMSプログラムに省として参加する雲南省政府が、多層的な地域形成を促進し、国際、国内各レベルの関係とのネットワークを活用し空間を形成していることへの分析視座を提供した。この分析視座は、ADB-GMS研究のみならず、他地域での分析にも有効な視点を提供している。

韓国・東北亜経済学会への派遣者決定

2016年2月17日開催の韓国・東北亜経済学会大会への本学会からの派遣者(3名)が決定しました。各派遣者には、航空券代として5万円を上限とする実費を学会より助成いたします。

第3回新潟地域研究会開催のお知らせ(3/24)

第3回新潟地域研究会を、新潟大学共生経済学研究センター研究会との共催により、下記のように開きます。皆さまのご参加をお待ちしております。

- 日時:3月24日(木) 13:30~17:10
- 場所:新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」講義室A
(JR新潟駅南口に直結、駅ビル「PLAKA1」の2階)
- 報告者・題目:
朱美華(東京大学農学生命科学研究科・農学特定支援員)
「中国低温流通食品の管理体制とコールドチェーン維持

1. 松野周治会員(副会長:立命館大学)
2. 川口智彦会員(常任理事:日本大学)
3. 峯田史郎会員(早稲田大学)「北東アジア学会優秀論文賞」の副賞として

に関する制度整備」

包振山(新潟大学大学院現代社会文化研究科・博士課程)

「中国における外資系小売業の撤退に関する一考察」

※明明(新潟大学大学院現代社会文化研究科・博士課程)

「ポスト金融危機における中国中小企業の資金調達困難の要因への考察」

(※「形」の右側を“おおざと”に代えた漢字)

問い合わせ先:新潟大学経済学部 成成男研究室

chn-yan@econ.niigata-u.ac.jp

関東地区サテライト研究会のご案内(4/17・慶応・三田キャンパス)

関東地区サテライト研究会を4月17日(日)午前中に慶應義塾大学・三田キャンパスで開催することとなりました。若手の研究を応援する趣旨のものです。皆さまのご参加をお待ちしております。

- 日時:2016年4月17日(日) 10:00~13:00
- 場所:慶應義塾大学三田キャンパス「研究室棟1F、B会議室
(JR田町駅、都営地下鉄三田駅すぐ)
- 報告者・題目:
①岡村祐和(早稲田大学大学院)
「日韓地方間交流について一日韓関係をリベラルな側面から

検証する一」

討論者 川口智彦(日本大学国際関係学部)

②劉ショウ(日本大学大学院)

「中国におけるNGOの現状と課題」

討論者 松野周治(立命館大学名誉教授)

③岩佐興城(創価大学大学院)

「第二次大戦後における「裏日本」形成の要因について
—おもに占領期の経済政策に着目して—

討論者 榎谷圭司(新潟県立大学国際地域学部)

2014/15年度決算および2015/16年度予算について

前回の総会で、証憑の一部不足により、暫定決算となっていた2014/15年度の決算ですが、証憑の再発行が済み、会計帳簿を正確に記載することができました。これにより、2015年12月15日に竹村卓監事に会計監査をお願いし、正確に処理されていることを確認していただきました。

この決算を元に、暫定予算となっていた2015/16年度予算についても正式の予算案を作成しました。

決算と予算は会則第14条の規定により、総会で決議することが定められています。しかし、全員が集まる総会は次回大会まで開くことが難しいので、2015年12月23日に開催された第8期第4回常任理事会で、本「つうしん」49号に決算および予算案を掲載し、2016年5月31日までに会員の皆様より意見を頂戴し、その結果を「つうしん」50号に掲載する形で、紙上

「臨時総会」を開催することに決定いたしました。会員の皆様におかれましては、次ページとその次のページの2014/15年度決算(案)、2015/16年度決算(案)をご覧の上、ご意見がありましたら、事務局宛メール(jimukyoku@anears.net)または郵便でご意見を頂戴したく思います。形式は任意です。疑問点、ご質問等がありましたら、お気軽にお知らせください。

締め切りは、2016年4月30日(消印有効)といたします。

〒950-0078

新潟県新潟市中央区万代島5-1万代島ビル13階

環日本海経済研究所内

北東アジア学会事務局 あて

2014/15年度会計監査報告および決算(案)

【資料2】

2014/2015年度(2014年8月1日～2015年7月31日) 決算報告

2015年12月23日

科目・事業	2014/2015年度予算額	2014/2015年度決算額	差引額	備考
収入の部	¥8,087,654	¥6,822,853	¥-1,264,801	
経常収入の部	¥2,095,000	¥1,330,199	¥-764,801	
入会金収入	¥0	¥0	¥0	
一般会員会費収入	¥1,800,000	¥1,023,768	¥-776,232	
学生会員会費収入	¥120,000	¥45,000	¥-75,000	
優待会員会費収入	¥100,000	¥0	¥-100,000	
賛助会員会費収入	¥60,000	¥20,000	¥-40,000	
特別賛助会員会費収入	¥0	¥0	¥0	
事業収入	¥15,000	¥13,500	¥-1,500	学会誌売り上げ
寄付金収入	¥0	¥10,000	¥10,000	
受取利息	¥0	¥1,071	¥1,071	
雑収入	¥0	¥216,860	¥216,860	第20回記念大会(三島)開催費残額返金
その他の資金収入の部	¥500,000	¥0	¥-500,000	
特定預金取崩収入	¥500,000	¥0	¥-500,000	
前期繰越正味財産の部	¥5,492,654	¥5,492,654	¥0	
前期繰越正味財産	¥5,492,654	¥5,492,654	¥0	前年度からの繰越金(2013/14年度→2014/15年度)

支出の部	¥8,238,654	¥6,822,853	¥-1,415,801	
経常支出の部	¥3,472,000	¥1,630,737	¥-1,841,263	
事務局・理事会	¥400,000	¥49,737	¥-350,263	通信費、振込手数料、サーバー管理費など
大会開催事業	¥1,000,000	¥500,000	¥-500,000	第20回記念大会(三島)開催費を執行、第21回大会費は未執行
20周年大会特別事業費	¥700,000	¥700,000	¥0	
サテライト研究会事業	¥200,000	¥30,000	¥-170,000	環日本海交流協会協賛金(サテライト研究会としてシンポジウム)
和雑誌編集委員会	¥400,000	¥0	¥-400,000	先日発行された「北東アジア研究」21号の費用は2015/2016年度予算で執行しなければならない
英雑誌編集委員会	¥350,000	¥351,000	¥1,000	Frontiers of North East Asian Studies vol.13印刷費、発送料
学会優秀論文賞事業	¥60,000	¥0	¥-60,000	
学会学生奨励賞事業	¥2,000	¥0	¥-2,000	
韓国東北亜経済学会交流事業	¥150,000	¥0	¥-150,000	2014/2015年度に事業は実施されたが、まだ精算していない。2015/2016年度予算で処理予定
新たな学術交流協定締結準備事業	¥100,000	¥0	¥-100,000	
日本学術会議等交流事業	¥10,000	¥0	¥-10,000	
周年記念事業積立	¥100,000	¥0	¥-100,000	
周年事業準備事業	¥0	¥0	¥0	
期末正味財産合計の部	¥4,766,654	¥5,192,116	¥425,462	
期末正味財産合計	¥4,766,654	¥5,192,116	¥425,462	次年度への繰越金(2014/15年度→2015/16年度)

資産の部	¥1,000,300	¥1,500,000	¥499,700	
固定資産の部	¥1,000,000	¥1,500,000	¥500,000	
定額貯金	¥1,000,000	¥1,500,000	¥500,000	
流動資産の部	¥300	¥0	¥-300	
有価証券	¥300	¥0	¥-300	

会計年度について

- 会則上の会計年度は、前年の8月1日から当年の7月31日までとなっている。
- 前年度(2013/14年度)の出納閉鎖は、2014年7月31日であった。
- 今年度(2014/15年度)の出納閉鎖は、2015年7月31日である。

会計監査報告

北東アジア学会2014/15年度会計(2014年8月1日から2015年7月31日まで)の決算について、決算書類と帳票類を照合精査したところ、正確に処理されていることが確認されました。

2015年12月15日

会計監事

つお卓



2015/16年度予算(案)

北東アジア学会2015/16年度予算(案)

2015年8月1日から2016年7月31日まで

科目・事業	2015/16年度予算	2014/15年度決算	差引	備考
年間収支額(参考)	-577,475	-300,538		
収入の部	7,070,319	6,822,853	247,466	
経常収入の部	1,878,203	1,330,199	548,004	
科目			0	
入会金収入	0	0	0	
一般会員会費収入	1,291,000	1,023,768	267,232	前年度未収金の徴収強化
学生会員会費収入	115,000	45,000	70,000	同上
優待会員会費収入	35,000	0	35,000	会員制度の変更による
賛助会員会費収入	60,000	20,000	40,000	
特別賛助会員会費収入	0	0	0	
事業収入	15,000	13,500	1,500	学会誌の売り上げ
寄付金収入	0	10,000	-10,000	
受取利息	0	1,071	-1,071	
雑収入	362,203	216,860	145,343	第21回大会残金の差し戻し予定額
その他の資金収入の部	0	0	0	
特定預金取崩収入	0	0	0	
前期繰越正味財産の部	5,192,116	5,492,654	-300,538	
前期繰越正味財産	5,192,116	5,492,654	-300,538	※2
支出の部	7,647,794	7,123,391	524,403	
経常支出の部	2,881,140	1,630,737	1,250,403	
事業				
事務局・理事会	300,000	49,737	250,263	会費請求、「つうしん」発行サイクルの復活による
大会開催事業	1,000,000	500,000	500,000	※
20周年大会特別事業費	0	700,000	-700,000	
地域・サテライト研究会事業	100,000	30,000	70,000	
和雑誌編集委員会	908,140	0	908,140	21、22号
英雑誌編集委員会	50,000	351,000	-301,000	
学会優秀論文賞事業	60,000	0	60,000	
学会学生奨励賞事業	3,000	0	3,000	2年分
韓国東北亜経済学会交流事業	150,000	0	150,000	
新たな学術交流協定締結準備事業	100,000	0	100,000	
日本学術会議等交流事業	10,000	0	10,000	
周年記念事業積立	200,000	0	200,000	14/15年度および15/16年度分
期末正味財産合計の部	4,766,654	5,492,654	-726,000	
期末正味財産合計	4,614,641	5,192,116	-577,475	
資産の部	1,500,000	1,500,000	0	
固定資産の部	1,500,000	1,500,000	0	
定額貯金	1,500,000	1,500,000	0	
流動資産の部	0	0	0	
有価証券	0	0	0	

※大会開催事業の100万円は、前期で第21回大会の開催費が未執行であったため、今期に第21回、第22回大会各50万円の費用を計上したことによる。

英雑誌の電子化について

第8期第4回常任理事会において、英雑誌の発行経費削減のために、雑誌の体裁を紙媒体からPDFによる電子版に移行することを決定いたしました。これは、英雑誌の印刷費を削減することによって、年間の赤字額をほぼ半減できるとの計算に基づいています。この件についても、予算案と同じく、会員の皆様のご意見を頂戴したいと思います。

います（今年度予算案は、英雑誌の電子化を前提とした額となっています）。疑問点、ご質問等がありましたら、お気軽にお知らせください。

締め切りは、予算案に対する意見と同じく、2016年4月30日（消印有効）といたします。

北東アジア学会優秀論文賞の推薦受付について

「北東アジア学会優秀論文賞」は、若手研究者の育成を目的として、学会設立10周年を記念して設立されました。今年度も、下記の日程で、推薦を受け付けています。

- 被推薦対象論文 「北東アジア地域研究」第22号をはじめとする、2015年9月1日から2016年8月31日までに公刊された査読付単著論文
- 被推薦対象者 当該論文発表時に40歳未満である学会員(会費を完納していること)
- 推薦方法 2016年9月30日(消印有効)までに推薦状(指定様式)とともに、当該論文の抜刷5部を添えて学会事務局に提出

〒950-0078

新潟県新潟市中央区万代島5-1万代島ビル13階
環日本海経済研究所内

北東アジア学会事務局 あて
025-290-5545

表彰 審査を経て、表彰

副賞 韓国東北亜経済学会(2017年2月を予定)での研究報告(航空運賃等の費用を5万円を上限として本学会が負担)

詳細・問合せ先 学会事務局 jimukyoku@anears.net

優秀論文賞選考規定

<http://www.anears.net/jm/rombunsho.pdf>

優秀論文賞推薦状の様式は、こちら(.doc形式/.pdf形式)。

<http://anears.net/jm/form07.doc>

<http://anears.net/jm/form07.pdf>

北東アジア学会学生奨励賞の推薦受付について

本学会では、各年度に提出された卒業論文等について、特に優秀なものを北東アジア学会学生奨励賞として表彰しています。2015/16年度につきましても、2016年4月15日到着締め切りで推薦を募集します。推薦をされたい方は、事務局に「北東アジア学会学生奨励賞推薦状」をご請求の上、ご記入いただき、推薦する論文1部を添付して、会長あてお送りください。

さい。

〒108-8345

東京都港区三田2丁目15-45

慶應義塾大学経済学部

大西広 あて

jimukyoku@anears.net

優待会員・海外通信会員への会員種別変更を受け付けます

2015/16年度より、会則第4条に基づき、優待会員と海外通信会員への会員種別変更を受け付けます。

優待会員は、65歳以上または所属機関を退職した方で、かつ研究者として有給の定職に就いていない方で、優待会員となることを希望され、手続きを行っていただいた場合、年会費が5000円となります。

海外通信会員は、会員のうち日本国外に生活の本拠があり、海外通信会員となることを希望され、手続きをとっていただいた場合、学会誌の発送は行いませんが、会費が当分の間(外

国からの会費を有効に徴収できるシステムが完備されるまでの間、暫定的に)無料となります。

まもなくお送りする会費請求書に会員種別変更届を同封しますので、ご希望の方はそれにご記入の上、事務局までメールか郵便でお送りください。なお、会費は変更後の種別で振込用紙にお書きいただき、変更後の金額で送金していただければ結構です。もし、手続きができない理由がある場合は、事務局から別途ご連絡を差し上げます。

就職された方は一般会員に会員種別変更をお願いいたします

会則第4条で学生会員は「学生会員は、大学院に在籍し、またはポスドク研究員等研究者として有給の定職に就いていない方で、学生会員となることを希望し、所定の手続きをとった者」と規定されています。大学院を卒業して就職された方、研究者として有給の定職に変更となった方は会員種別を一般会員に変更していただくようお願いいたします。まもなくお送りする会費請求書に会員種別変更届を同封しますので、

それにご記入の上、事務局までメールか郵便でお送りください。なお、会費は変更後の種別で振込用紙にお書きいただき、変更後の金額で送金していただければ結構です。ご自分の職が学生会員に該当するかどうか不明な場合は、事務局宛メールまたは郵便でお問い合わせください(事務局長が在外研究中のため、電話での問い合わせは受け付けていません。ただし、こちらから電話をかけることは可能なので、メール

か郵便でお知らせください)。

会員現状届にご協力をお願いいたします

まもなくお送りする会費請求書に北東アジア学会会員名簿
 登載事項諾否調(兼現状確認)会員現状届の用紙を同封し
 ますので、ご自身の情報を確認の上、変更、訂正の必要があ

る方はご記入の上、事務局までスキャンしたものをメールでお
 送りいただくか、郵便でお送りください。

理事会・常任理事会議事(2014年12月～2015年12月)ただし第21回大会関連除く

第8期第1回常任理事会報告

概要

とき 2014年12月27日(土)14:00-17:30
 ところ 慶應義塾大学三田キャンパス(港区)

報告事項

[1] 事務局消息

三村光弘事務局長から、事務局体制、総会以降の業務執
 行状況、これからすぐ行うべき事項、現状での問題点、
 問題点の解決方法について報告があった。

[2] 第20回記念大会決算報告

川口智彦常任理事より、第20回記念大会の開催費用につ
 いて、収入合計1,295,500円(学会からの費用1,200,000円含
 む)に対し、支出合計は1,078,640円で、開催校としては、自
 主的に残金の216,860円を返金することにしたとの報告があっ
 た。

[3] 学会誌編集委員会報告

高橋和常任理事・「北東アジア地域研究」編集委員会委員
 長から、「北東アジア地域研究」第21号の編集状況について
 の報告があった。

今村弘子副会長・「Frontiers of North East Asian
 Studies」編集委員長から、FES第14号の編集状況について
 の報告があった。

[4] 地域研究会等の開催

三村光弘事務局長から、「北東アジア学会・北陸地区サ
 テライト研究会」(2014年12月7日開催)、「北東アジア学
 会・新潟地区サテライト研究会」(2014年12月20日開催)、
 「北東アジア学会・関東地区サテライト研究会」(2014年
 12月27日開催)についての報告があった。

[5] 会員制度変更に伴う会員種別の変更受付方法につ て

三村光弘事務局長から、2015年8月1日からの2015/16年
 度から新会員制度にもとづき会費が確定するので、2015/16
 年度の会費請求書を送付する際に、会員種別変更届(別紙
 参照)を同封し、次期の常任理事会(または理事会)で変更を
 一括承認することとするとの報告があった。

協議事項

[6] 第21回大会の日程変更について

今村弘子副会長より、2014年9月21日(日)に開催された
 2014/15年度会員総会で第21回大会は2015年10月10日
 (土)～11日(日)に富山大学五福キャンパスで開催されること
 が決定したが、その日程で大学祭が開催されることが判明し、
 学会を開催する環境ではなくなるため、10月17日～18日に
 日程を変更できないかとの提案があり、承認された。

[7] 第21回大会の企画について

今村弘子副会長より、来年度大会の企画について「3年続
 けての共通テーマ」と開催校の独自性・地域性要請とを
 どのように結合するか、またプログラム委員会と開催校
 の役割分担について提案があり、富山大学には副会長1名、
 常任理事1名、プログラム委員1名が在籍し、十分な準備
 能力を有していることから、開催校の独自性をより重視
 する方向で準備することとなった。

[8] 韓国・東北亜経済学会への会員派遣について

三村光弘事務局長から、2015年2月24日(火)～25日(水)
 に開催される韓国・東北亜経済学会大会に、会長、事務
 局長を派遣する線で調整し、もう一人の会員からの派遣
 を公募することが提案され、承認された。

[9] 来夏の「日韓学生サミット」に対する後援名義使用およ び協力について

三村光弘事務局長から、2015年8月に開催予定の「日韓国
 交正常化50周年記念大学生サミット」への後援名義使用およ

び協力について提案があり、学会として後援し、参加者の選定など、可能な限り協力することが承認された。

[10] 長期会費滞納会員の退会処理について

三村光弘事務局長より、長期会費滞納会員の退会処理について前期よりの引き継ぎ事項である旨の説明があり、退会処理に向けて慎重に事務処理を行っていくことが確認された。

[11] 人事(新入会員の入会承認)

第8期第2回常任理事会報告

概要

とき 2015年4月18日(土)14:00-17:30

ところ 慶應義塾大学三田キャンパス(港区)

報告事項

[1] 事務局消息

三村光弘事務局長から、第8期第1回常任理事会以降の業務執行状況、これからすぐ行うべき事項、現状での問題点について報告があった。

[2] 学会誌編集委員会報告

高橋和常任理事・「北東アジア地域研究」編集委員会委員長から、「北東アジア地域研究」第21号の編集状況について報告があった。内容は、北東アジア学会第20回学術研究大会シンポジウム記録、研究論文5編、研究ノート1編を掲載見込み、書評3編など。

今村弘子副会長・「Frontiers of North East Asian Studies」編集委員長から、FES第14号の編集状況(2編プラスアルファの予定)について報告があった。また、英雑誌編集委員会は今年度で任期満了に伴い、次期編集委員会を検討する必要があるとの報告があった。

[3] 地域研究会の開催状況

三村光弘事務局長から、「九州地域研究会」(2015年1月24日開催)、「北東アジア学会・第2回新潟地域研究会」(2015年2月28日開催)についての報告があった。

[4] プログラム委員会の開催状況・議論の進捗状況について

川口智彦常任理事・プログラム委員会委員長から2015年2月1日(日)18時～開催されたプログラム委員会の議論の進

吉田央氏(東京農工大学農学研究院)の入会申込書が閲覧され、入会が承認された。

次回の予定

第8期第2回常任理事会

とき 2015年4月18日(土)14:00-17:30

ところ 慶應義塾大学三田キャンパス

議題 第22回学術研究大会について/人事について/その他

捗状況について報告があった。

[5] 韓国・東北亜経済学会への会員派遣について

三村光弘事務局長から、韓国・東北亜経済学会への派遣は、最終的に今村弘子副会長(発表: The Economic Relationship between China and North Korea- Ordinary or Cold)、吉田央会員(発表: 福島原電事故以降の日本の原子力政策)、李鋼哲会員(発表: 新常态時代の中国经济? 外交と北東アジア地域協力パラダイムの転換)となったことが報告された。また、学会からの助成は李鋼哲会員に行われることになったことが報告された。

協議事項

[6] 第21回富山大会の企画について

初日(10月17日)午後のシンポジウムの内容については、プログラム委員会の議論を参照しつつ決定することが承認された。また、教室配分とコメンテーターの決定が行われた。

[7] 会員種別の判断基準について

三村光弘事務局長より、一般会員と学生会員の判断基準について、(1)日本学術振興会のPD、PRD、SPDは金額を考えれば一般会員扱い、(2)事務職員扱いでのポスト(教育研究支援者および事務職員)の場合は、一律学生会員扱い、(3)研究職扱いのポストでも、任期付き採用でかつ月收入がおおむね20万円以下(その収入だけでは暮らしていけない)であれば、状況を斟酌して、学生会員扱いを行うこともある(ただし、研究費で学会費が払えるなど、負担能力があれば一般会員扱いにする)ことが提案され、承認された。

[8] 次回理事会の開催時間について

三村光弘事務局長より、理事会の開催時間について、事務局長の本務校業務との兼ね合いで、10:00~13:00にすることが提案され、承認された。

[9] 人事(新入会員の入会承認)

第8期第3回常任理事会報告

概要

とき 2015年7月11日(日)10:00-13:00

ところ 富山大学・五福キャンパス

第8期第2回理事会として開催予定のところ、事務局の不手際で開会の連絡が遅れたため、会長発議で第8期第3回常任理事会として開催することとなった。

[1] 前回常任理事会の議事録確認

三村光弘事務局長から、第8期第2回常任理事会の議事録が提出され、確認を行った。

[2] 事務局消息

三村光弘事務局長から、第8期第2回常任理事会以降の業務執行状況、これからすぐ行うべき事項、現状での課題について報告があった。

[3] 学会誌編集委員会報告

高橋和常任理事・「北東アジア地域研究」編集委員会委員長から、「北東アジア地域研究」第21号の編集状況について校正に遅れが生じており、5月末発行は無理であった。できるだけ早くの発行を目指す、出来上がりは177ページの予定との報告があった。

今村弘子副会長・「Frontiers of North East Asian Studies」編集委員長から、FES第14号の編集状況(2本の投稿論文があり、投稿論文1については、査読が終わり、現在修正中。投稿論文2については現在査読中であるとの報告があった。

[4] 地域研究会の開催状況

三村光弘事務局長から、「関東地域研究会」(2015年7月4日)についての報告があった。

[5] プログラム委員会の開催状況・議論の進捗状況について

川口智彦常任理事・プログラム委員会委員長から第21回大会のシンポジウムプログラムの検討状況について報告があっ

6名の入会申込書が回覧され、入会が承認された。

[10] 今後の地域研究会について

松野周治副会長から、2015年7月25日に関西地域研究会を開催することが提案され、承認された。

[6] 第21回富山大会の参加申し込み状況

今村弘子副会長より第21回大会の参加申し込み状況について報告があった。

協議事項

[7] 第21回富山大会の企画について

初日(10月17日)午後のシンポジウムの内容については、プログラム委員会の議論を参照しつつ決定することが承認された。また、教室配分とコメンテーターの最終決定が行われた。

[8] 今後の地域研究会について

松野周治副会長より、関西地域研究会を次のように開催する提案があり、承認された。

日時:2015年7月25日(土)13:00~17:00

場所:大阪商業大学(大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10)

研究棟(3号館)4階ミーティングルーム

問題提起:坂田幹男(大阪商業大学)

報告1:韓国経済論から(裴光雄:大阪教育大学)

報告2:中国経済論から(高屋和子:立命館大学)

司会:松野周治(立命館大学)

[9] 人事(新入会員の入会承認)

藤本典嗣氏(福島大学)、正木聡氏(昭文社)、岩佐興城氏(創価大学大学院)、岡村祐和氏(早稲田大学大学院)の入会申込書が回覧され、入会が承認された。

次回の予定

第8期第2回理事会

とき 2015年10月7日(土)9:00~11:20

ところ 富山大学・五福キャンパス

議題 第22回学術研究大会について/決算・予算について/総会議案について/人事について/その他

第8期第4回常任理事会報告

概要

とき 2015年12月23日(水・祝)14:00-17:30

ところ 慶應義塾大学三田キャンパス

出席者(順不同・敬称略):大西、今村、松野、高橋、堀内、岡本、川口、三村

報告事項

[1] 事務局

- 「北東アジア学会つうしん」第48号の発行(北東アジア学会第21回学術研究大会実行委員会メンバーに誤記あり。事務局長のミスであり、お詫び申し上げます)
- ゆうちょ銀行貯金口座と振替貯金口座の名義変更完了と6件の証憑の入手完了。それをもって竹村卓監事に正式の監査を依頼し、2015年12月15日会計監査が終了(2014/15年度決算と2014/15年度予算についての議題参照)。振込用紙の印刷も完了。
- 北東アジア学会学生奨励賞(2014年分)の新潟県立大・宗村英里佳さんに対する賞状の発行および送付。
- 「北東アジア学会つうしん」第49号は第47号以降の理事会、常任理事会の記録および第48号以降のニュースを中心に請求書と同時に発送(紙ベースで送る会員に対しては同封)
- 2015年12月31日付で会費納入状況をアップデートし、会員データベースを更新した上で、1月中旬～後半にかけて請求書を発行し、会員現状届、会員種別変更届とともに発送。
- 日本学術会議協力学術研究団体の実態調査(学会名鑑)→2016年1月31日締め切り。事務局で会員数確定後回答予定。
- 教育の質確保に関する日本学術会議のアンケート→回答予定(その後回答)
- 物故者の会員名簿からの削除
 - ▶ 故小澤治子会員(新潟国際情報大学)、故西重信会員(元関西大学)

[2] 学会誌編集委員会報告

和雑誌編集委員会

- 投稿状況:投稿論文9本、書評4本。
- 毎年ほぼ同じような内容で出てくる論文はどうか。
- 修士課程の学生の投稿も当分制限しない。

英雑誌編集委員会

- 英雑誌編集委員会の構成
 - ▶ 現在のところ、森川裕二(長崎大学)会員、五十嵐誠一(千葉大学)会員、松村史紀(宇都宮大学)会員から快諾をいただいた。今後、さらに1~2名の編集委員をお願いしたく、

交渉中である。

- ▶ 電子出版化の問題とそのための英文ホームページの作成の問題は協議事項

[3] 北東アジア学会優秀論文賞

- 審査委員長:若月章副会長、審査委員:高橋正樹会員(新潟国際情報大学)
- 審査結果の提出を待って、メール審議(持ち回り常任理事会)にて決定する。

[4] 北東アジア学会学生奨励賞

- 今年度の応募はなし。来年度の広報を強化する。
- 次のつうしんで広報。3月末までに提出→4月の理事会で決定。

[4] サテライト研究会の開催

- 2015年12月23日(水・祝)10:00~13:00 於 慶應義塾大学三田キャンパス研究室棟1階A会議室
- 内容
 - ▶ 成双之(慶應義塾大学大学院)「中国の退耕還林プロジェクトの経済評価と課題」討論者 大西広(慶應義塾大学経済学部)
 - ▶ 前田幹博(早稲田大学大学院)「ドイツの安全保障共同体によるアセアンへのインプリケーションについて—アチャリアの論文より」討論者 佐渡友哲(日本大学法学部)
 - ▶ 杜世鑫(青山学院大学大学院)「1956年ポーランド危機、ハンガリー事件における中国共産党の意思決定」討論者 松村史紀(宇都宮大学国際学部)

協議事項

[1] 人事

- 現在の会員数262名(一般215、学生44、賛助3)
- 会員の退会希望(3名)
 - ▶ 雨宮洋司会員(元富山大学・元富山商船高等専門学校)、飯島康夫会員(聖学院大学)、大串龍一会員(特定非営利活動法人河北潟湖沼研究所)
- 長期滞納会員の退会処理対象53名。退会処理をすると会員数は206名(一般173、学生30、賛助3)となる。→2014年、15年に支払った人は退会対象から抜く。内山、沢田、宋の各会員は退会対象からぬき、32番から39番は海外会員に登録する(36除く)

[2] 事務局

- 「北東アジア学会つうしん」第48号の第21回大会実行委員会の誤記について、次号(第49号)で訂正記事を掲載する。

- ウェブサーバの変更について：次回の常任理事会までに事務局経費の範囲内（年間数万円で契約できるところを探す）で新たなサーバ契約を行う。

[3] 2014/15年度決算案

- 振替貯金口座の名義変更後、オンラインで取得できなかった証憑の再発行を受け、これを元に会計帳簿を整えた上で、2015年12月15日に竹村卓監事の監査を受けた（内容的には、前回総会時に行われた暫定決算と同じ）。
- 齋藤監事からは、前回の暫定的な監査の結果を踏まえ、竹村監事による監査を受けることで問題は補充されるとの意見を2015年11月25日にいただいている。
- 李鋼哲会員への韓国北東亜経済学会派遣にかかわる助成について、回覧された証憑で支払いを行う。
- 予決算は会則により総会決定事項となっているため、臨時総会をオンラインで開く必要があるか、それとも来年の大会まで暫定決算、暫定予算のままいくのか。

→「つうしん」49号に案を掲載して、意見を一定の期間郵便とメールで募って、その次の「つうしん」50号で結果を発表。

→大会開催費については、渡しきりの制度自体は変えないが、簡単な精算を行っていただいて、残った金額は返していただけるように「推奨」する方向性。

→学会誌販売価格は、合計1500円、本体1389円でいく。

[3] 英雑誌編集委員会

- 英雑誌の発行経費削減のために、雑誌の体裁を紙媒体からPDFによる電子版とし、学会ホームページ上で最新号を含め無料公開することは必要か。
- もしそうするとすれば、最低限の英語版トップページを作成して、雑誌のPDF、投稿規定等の必要な情報を提供する必要がある。
- 今後電子媒体になることを明示して call for paper とする。発行後すぐにPDFで公開する。締め切りを4月30日とする。編集委員長と編集員の名前を出す。
- 書面上の臨時総会の議題にこの問題を入れる。

[4] 2015/16年度予算案

- 英雑誌の発行形態により、第1案と第2案があり、発行形態の議論を受けて議論を行う→電子化を前提とした第2案で承認

[5] 韓国北東亜経済学会への会員派遣

- 2016年2月17日か18日のどちらかになる予定。発表論文（英語または朝鮮語）の締め切りは先方学

会が2月初旬なので、北東アジア学会では1月末締め切り。

- 原則3名派遣するところ、一般的には会長または副会長もしくは常任理事、優秀論文賞の受賞者（希望した場合）、もう一人という形だが、どうするか（大西会長は、大学業務の関係で参加が不可能）松野副会長（17日であれば）または今村副会長、川口常任理事、峯田会員（副賞として）。

[6] 中国マクロ経済管理教育学会への会員派遣

- 2016年秋の予定。派遣を従来どおり行うかどうかを決定。→次回の常任理事会で継続審議

[6] 次回大会について(プログラム委員会)

- 2016年10月8日（土）～9日（日）慶應義塾大学三田キャンパス（田町）で開催。大会の準備態勢をどうするのか。
- 中国の国慶節休暇、台湾の双十国慶節休暇と重なっているため、告知を早めに行い、会員にホテルの確保を促す必要あり。
- プログラム委員会と大会実行委員会の役割分担は、一般的には大会実行委員会は開催校に設置し、実行委員長は開催校より選出する。初日のシンポジウム以外の分科会に関するすべての事項（大会会場の設定・運営（シンポジウム会場も含む）、補助学生等の動員・管理、弁当の手配、韓国学会への連絡と宿泊等手配、予稿集の印刷を行う）。
- 大会実行委員会は、報告者募集、予稿集・論文収集、分科会設定、座長と討論者の選出の原案を作成し（未定部分が残ってもよい）、その原案を常任理事会で検討、補完する。
- 学会事務局と連絡を密にしながら分担する。ただし、学会事務局への依頼事項は、大会実行委員会から事務局へ直接依頼する。
- プログラム委員会は、初日のシンポジウムに関する事項（会場の設置・運営は除く）。シンポジウムのテーマを設定する、それに即して報告者、司会者、討論者を選出する。報告者、司会者、討論者への依頼をする（あるいは「依頼」を要請する）。司会者にシンポジウム全体の流れ（時間・役割等）を大会直前に報告者と討論者に周知してもらうよう依頼する。
- 第22回慶応大会のシンポジウム
 - (1) サブテーマの設定「北東アジアの国際関係の打開と発展-北東アジアの国際関係の再認識-
 - A 米国と北東アジア（米国の北東アジアへのコミットメント）報告候補者：中戸会員（立命館大学）
 - B ロシアと北東アジア（ロシアの北東アジアへのコミットメント）報告候補者：堀内先生

(早稲田大学)

- C 中韓関係(中韓関係を北朝鮮を含めた政治的側面から論じる)報告候補者:韓国で探す(提携学会員とは限定しない、言語は朝鮮語のみでも可:事前フルペーパー翻訳で対応。ディスカッションはウィスパリングで対応)
- 討論者:それぞれの報告に対する直接の討論ではなく、報告も参照しながら次の視点を中心に討論する
- A 日中関係:討論候補者 大西会長(慶應義塾大学)
- B 日韓関係:討論候補者 孔会員(日本大学)
- 司会者:候補者 若月副会長(新潟県立大学)
- 大会運営
 - 今回は慶應に会員がひとりであること、会長業務と重なるため、事務の分担は一般ルールとは別に検討する。
 - 慶応実行委員会担当事項:会場設定、補助学生動員、懇親会設定、海外ゲストホテル確保、

弁当予約

- プログラム委員会・学会事務局協力事項:大会に関する会員への周知(一部会員を除きメールとウェブ)、報告希望者確認、レジュメ収集、予稿集(印刷版)作成、弁当希望者と懇親会出席希望者の数確認
- フルペーパーについて:フルペーパーの提出は義務化するか?→次回の常任理事会で再度議論

次回の予定

第8期第5回常任理事会

とき 2016年4月17日(日)14:00~17:00

ところ 慶應義塾大学三田キャンパス

議題 第22回学術研究大会について/臨時総会について/人事について/その他

つうしん48号記事の訂正

つうしん48号でお知らせした、北東アジア学会「第21回学術研究大会の開催」記事に次のような誤りがありました。関係者の皆様にお詫びするとともに、訂正いたします。

【誤】

北東アジア学会第21回学術研究大会実行委員会

委員長 川口智彦(日本大学)

委員 大西広(慶應義塾大学)、三村光弘(環日本海経済研究所)、山本雅資(富山大学)

〒411-8555 三島市文教町2-31-145 日本大学国際関係学部 川口智彦研究室気付

電話 075-612-6012 / ファックス 075-612-6012 / メール conference2015@anears.net

ル conference2015@anears.net

【正】

北東アジア学会第21回学術研究大会実行委員会

委員長 今村弘子(富山大学)

プログラム委員 川口智彦(日本大学)、山本雅資(富山大学)、大西広(慶應義塾大学)、三村光弘(環日本海経済研究所)

〒930-0887 富山県富山市五福3190 富山大学極東地域研究センター 今村研究室気付

電話 076-445-6430 / ファックス 076-445-6430 / メール conference2015@anears.net

事務局からのお知らせ

[1] 会費納付のお願い

(1) 2015/16年度会費の納付について

2015/16年度の会費納付をお願いいたします。近々、会費納付のご案内をお送りしますので、金額(過年度未納分がある方は併せてご請求申し上げます)をお確かめの上、同封の郵便振替払込票をご利用ください(オンライン・モバイルバンキング等をご利用の方は、下にある口座番号をご利用下さい)。

なお、定年退職された方を対象に「優待会員」の制度を設けました。これはご希望に従い会員種別を変更し、一般会員よりも低い会費を適用するもので、会員種別の変更届が必要です。詳しくは、5面の記事をご参照ください。

年会費	一般	10,000円
	学生	5,000円
	優待	5,000円
	賛助	20,000円

ゆうちょ銀行郵便振替口座

口座番号 00990-3-117008

口座名義人 北東アジア学会

銀行振込(ゆうちょ銀行以外の金融機関から)・その1

銀行名 ゆうちょ銀行(金融機関コード9900)

支店名 ヨンサンハチ 四三八(支店コード438)
 口座種別・番号 普通8097831
 口座名義人 北東アジア学会

銀行振込(ゆうちょ銀行以外の金融機関から)・その2

銀行名 ゆうちょ銀行(金融機関コード9900)
 支店名 ゼロキウキウ 〇九九(支店コード099)
 口座種別・番号 当座0117008
 口座名義人 北東アジア学会

銀行振込(ゆうちょ銀行総合口座(旧・ぱるる)から)

記号 14380
 番号 80978311
 口座名義人 北東アジア学会

[3] 会員への／との情報提供・交換について

第8期事務局では、会員への情報提供、会員との情報交換のためのツールとして、ウェブサイトや電子メールを抜本的に積極活用していくことにしています。

本学会でも多くの会員のみなさまが、すでに電子メールアドレスを学会事務局にご連絡いただいております、これをベース

に各種システムのデザインを、今後も順次行なっていく予定です。また、電子メールアドレスをご連絡いただいていない会員のみなさまには、これを機会に電子メールやウェブサイトの活用をご検討いただければ幸いです。

なお、メーリングリストの不達が見られています。メールアドレスを登録されているにもかかわらず、学会のメーリングリストを受け取られていない方は至急、事務局までお知らせください。

[4] 学会ウェブサイト会員専用領域へのアカウントとパスワード

アカウント anears パスワード TOra1001

(てい・お・あ・え・い・れい・れい・いち)

学会ウェブサイト会員専用領域では、「環日本海研究」「北東アジア地域研究」の創刊号からのすべての論文をpdf形式で、会員向けに提供しています。ぜひご利用ください。

アカウント、パスワードとも、大文字小文字の違いを認識します。変更時には、「つうしん」にてお知らせいたします。

編集後記

「つうしん」第49号は、第8期の初期から第21回学術研究大会まで、およびそれ以降のお知らせを中心にお伝えしました。これで、遅れていたお知らせをすべてお伝えすることができました。第21回大会時の総会で、口座移管のための会則変更などにご協力いただきありがとうございました。おかげさまで、口座の移管等事務局の活動はやっと軌道に乗り、会費納付事業に関連しても正常化のめどが立ちました。会員種別の変更を受け付けるめどが立ちましたので、ご希望の方はぜひ変更手続きをお願いいたします。引き続き、みなさまのお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

【三村光弘】